

道徳学習指導案

日時 平成26年2月18日(火) 5校時
児童 3年1組 男子14名 女子12名
指導者 教諭 黒崎 寛行

『精一杯生きる』

資料『電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ』(角川書店)

1、主題のねらい

生きたくても生きられない命があることを知り、自他の命を大切にしようとする心情を養う。

2、主題設定の理由

近年、加速度的に犯罪が低年齢化し、残念なことに小学生が同級生の命をうばうという事件が起きるまでになってきた。また「キモい」「ウザい」「死ね」など、相手を傷つける言葉も日常的につかわれることも少なくない。この背景には、子どもを取り巻く生活環境の問題がある。テレビやゲームで「死ぬ」という場面を見たり、人を傷つける言葉を聞いたりすることが、日常的になってきている。

このような時代だからこそ、現実性をもって死を理解できるといわれるこの時期に、命の尊さについて考えさせたい。今回は宮越由貴奈さんの「命」という詩を読み、「生きたくても生きられない命がある」ことを知ることで、命の大切さについて深く考えさせていく。詩を一読しただけでは、内容を理解できず共感するまでには至らないことが予想される。そこで、詩の中に出てくる言葉をイメージしやすいように、具体的な場面を想定させて読み取らせる。

この授業を通して「命を大切にすること」がどういうことか、一人一人の考えが深まることを期待する。

3、「札幌市子どもの権利条例」との関連


- 第9条「豊かに育つ権利」
- 第8条「自分らしく生きる権利」

本実践では、「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」の第9条「豊かに育つ権利」のうち、(1)「かけがえのない自分を大切にすること」が関連する。子どもたちは「命は大切なものである」と思っているが、「命を大切にすること」がどういうことかについては、あまり考えたことがないと予想される。「命」の詩から自分の命がかけがいのないものであるということに気付かせたい。

また第8条「自分らしく生きる権利」の(3)「いじめ、虐待、体罰などから心や体が守られること」も関連する。授業の後半で相手の心を傷つける言葉について考える場を設定した。相手を傷つける言葉から、自分の命だけでなく相手の「命」も大切にしていかなければならないということにも目を向けさせようと考えている。

4、本時の目標

宮越由貴奈さんの「命」の詩を通して、生きたくても生きられない命があることを知り、そこから自他の命を大切にしようとする心情を養う。

児童の活動・ものの見方や考え方	教師のかかわり
<p>みんなにとって、一番大切なものは何だろう。</p> <p>家族 友達 命 おもちゃ お金</p> <p>「命を大切にする」ということは、どういうことだろうか。</p>	<p>自分にとって大切なものは何か発表させる。その中で一番大切なものはどれかと問うことから学習問題につなげる。</p>
<p>○資料「電池が切れるまで『命』を読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>命</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつかなくなる ・簡単にはとりにかえられない </div> <div style="font-size: 2em; color: yellow; margin: 0 10px;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>電池</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつか切れる ・すぐにとりにかえられる </div> </div>	<p>数名の子に考えを発表させ、イメージを膨らませてから、資料を読む。</p>
<p>由貴奈さんは、どんな気持ちで詩を書いたのかな？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">命を無駄にするなんて、もったいない。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">命を大切にしたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">命が疲れたと言うまで精一杯生きたい。</div> </div>	<p>「命」と「電池」の違いを読み取った後に、宮越由貴奈さんについて、説明する。</p>
<p>「命を大切にする」ために、自分ができることはどんなことだろう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">生きてることに感謝する。</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">一日一日、大切に過ごす。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">事故や病気に気をつける。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">友達も大切に</div> </div>	<p>自分が由貴奈さんだったら、という視点で、気持ちを想像しながら発表させる。</p> <p>自分の命にしか目が向かない場合は、人を傷つける言葉遣いの事例を提示し、他者の命にも目を向けさせる。</p>
<p>これからも元気であることに感謝をしたり、自分の命や友達の命を大切にしたりして生活していこう。</p>	<p>学習を振り返り、ワークシートに自分の考えを書かせる。</p>